

復興農学会 2021年度総会・公開シンポジウム

1. 総会・公開シンポジウムの目的等

東日本大震災・原子力災害に見舞われた福島県浜通り地域で農業の復興に寄与し加速するため、復興農学会は2020年6月に発足しました。学会員は農学系分野を中心とした大学や研究機関などの研究者ばかりではなく、地域の市民、農家、自治体、企業、団体等であり、きわめて幅が広いです。本学会は復興農学を旗印として新しい学術的・分野融合型の事業や研究、取組みを進め、成果や知見を蓄積し有機的に利活用して地域や社会に実装し、農業の復興を目指すことを目的としています。学会が発足して1年、コロナ禍ではありましたが被災地に寄り添った多くの活動を重ね、学術刊行物として「復興農学会誌」を発行し、農学系学協会の連合体である日本農学会に加盟しました。

本シンポジウムは、震災・原子力災害から10年が経過し、本学会発足から1年が経過したいま、浜通り地域の状況や農業の復興をふり返し、そして今後の道しるべや貢献を明確にすることを目的として開催します。

2. 開催概要

概要・詳細は「復興農学会」ホームページで随時、公開・案内します。

- ・名称 2021年度総会・公開シンポジウム
- ・日時 2021年6月26日(土) 13時00分～16時30分(予定)
- ・主催 復興農学会
- ・共催 福島大学、他(調整・確認中)
- ・主会場 福島大学(食農学類みらいホール)
- ・方法 Webシステム利用
- ・参加者 大学・研究機関等の研究者・教職員、農家、一般市民、自治体、団体、企業等
- ・プログラム(案・未連絡)
 - 13時00分 記者発表
 - ・復興農学会誌の発刊について
 - ・日本農学会への加盟について
 - 13時20分ごろ 総会
 - ・会長あいさつ(生源寺 眞一 福島大学教授)
 - (休憩)
 - 14時00分 公開シンポジウム
 - テーマ：農業の持続的復興のために
 - ・話題提供1(40分程度)
 - タイトル(案)：農研機構の研究戦略と災害からの農業復興
 - 話題提供者：調整・確認中
 - ・話題提供2(40分程度)
 - 福島大学食農学類発酵醸造研究所 所長 松田 幹 氏
 - タイトル：発酵醸造研究と農林水産業の復興
 - (休憩)
 - ・総合討論
 - 16時30分 閉会

(本件の問合せ・連絡先)
 福島大学食農学類
 新田 洋司(にった ようじ)
 E-mail nittay@agri.fukushima-u.ac.jp
 TEL024-548-8364、070-6651-1129